

# 平成25年度 事業実施報告書

一般社団法人 北陸地域づくり協会

事業名 (個別メニュー)	「けんせつフェア北陸in金沢」	事業経緯	継続	実施体制	後援	担当所属	技術部
事業名 (大項目)	調査研究及び研究助成事業	分類名 (中項目)	技術開発支援事業			事業区分	技術開発、研究開発

## 1. 事業目的

本事業は、産・学・官の優れた建設技術を一堂に集め、建設技術者の技術の研鑽・高揚並びに技術情報の交流の場として、これまで培われてきた建設技術のより一層の高度化やより広範囲な技術開発の促進へと繋げ、新技術・新工法の積極的な活用を促すことを目的に開催する。

## 2. 事業実施体制

### ■主催 「けんせつフェアin北陸」実行委員会

北陸地方整備局/新潟県/富山県/石川県/新潟市/金沢市/東日本高速道路(株)新潟支社/中日本高速道路(株)金沢支社/(一社)日本建設業連合会北陸支部/(一社)日本道路建設業協会北陸支部/(社)新潟県建設業協会/(一社)富山県建設業協会/(一社)石川県建設業協会/(一社)日本建設機械施工協会北陸支部/北陸土木コンクリート製品技術協会/(一社)建設コンサルタンツ協会北陸支部/(一社)建設電気技術協会北陸支部/北陸地質調査業協会/(一財)日本建設情報総合センター北陸地方センター/(一社)日本埋立浚渫協会北陸支部/北陸建設リサイクル協会

### ■協賛

東日本旅客鉄道(株)上信越工事事務所/北陸電力(株)

### ■後援

金沢大学/金沢工業大学/北陸先端科学技術大学院大学/石川工業高等専門学校/北國新聞社/北陸中日新聞/NHK金沢放送局/北陸放送/石川テレビ放送株式会社/テレビ金沢/北陸朝日放送/朝日新聞金沢総局/毎日新聞北陸総局/読売新聞北陸支社/日本経済新聞社金沢支局/産経新聞社福井支局/(株)日刊建設通信新聞社北陸支局、新潟支局/日刊工業新聞社/(株)北陸工業新聞社/共同通信社金沢支局/時事通信社/エフエム石川/ラジオかなざわ/(一財)河川情報センター/(一財)先端建設技術センター/(社)雪センター/(一社)北陸地域づくり協会

## 3. 事業実施概要

■開催日時:平成25年10月18日(金)9:30~17:00/10月19日(土)9:00~16:00

■開催場所:石川県産業展示館

■開催テーマ:

- ・イベント名称「けんせつフェア北陸in金沢」
- ・サブタイトル「みて、ふれて、知る 新技術・新工法」
- ・キャッチフレーズ「安全に暮らせる国土、活力ある社会を支える建設技術」

■展示内容など:

- ・民間企業の新技術・新工法の紹介展示、建設機械の展示
- ・北陸地方整備局・自治体等の公共公益事業の紹介
- ・学校(大学等)研究機関の新技術・新工法・防災等の紹介展示
- ・出展技術のプレゼンテーション
- ・企業情報コーナー
- ・NETIS相談コーナー
- ・防災学習体験(地震・降雨)、はたらく車コーナー(除雪車・災対車)
- ・小学生のための出前授業(石川高専)
- ・無人化施工体験コーナー

## 4. 事業実施による効果(評価・貢献度等)

1993年より隔年で開催しており、今回で11回目となる。行政関係者並びに建設技術者の技術力向上、技術研鑽・高揚を図り、技術開発・研究開発の一助となるとともに、新技術・新工法の活用・普及につながることを期待される。また、北陸地方における社会資本整備の現状及び必要性や効果を一般市民に「みて・ふれて・知って」もらい、社会資本整備におけるコスト縮減、環境に配慮した新技術や新工法等について理解を深めていただくことで、建設事業のイメージアップの絶好の機会を提供できた。東日本大震災など過去の大災害に対する、復旧・復興支援に際し活用された新技術・新工法も展示することで、建設事業によって国民の安全・安心が確保されていることや技術開発の重要性を再認識される来場者も多かった。

体験学習コーナーでは、地震・降雨の擬似体験を通じて災害の恐ろしさや日頃から災害に備える意識を改めて感じられた一般来場者が多く見受けられた。その他、小学生を対象に石川高専の専門教員による知識や技術・経験を活かした「水質調査」と「地震に強い家づくり」と題した出前授業を開催し、「ものづくり」「考察力」「発見する感動」の体験を提供した。

来場者数は約3,900名と前回の3,100名を上回る大盛況で、アンケートにおいても約8割が次回以降も開催を望まれている。また、今回の150社という出展数は過去最高で、次回以降も出展を望む企業が約9割を占め、出展社にとっても有意義な展示会となったことが伺える。



テープカット



出展社技術プレゼン



屋外展示



出前授業



屋内展示全景



体験コーナー